

食品ロス削減に関する 消費者庁の取組

平成28年10月10日

消費者庁

「食品ロス」の現状について

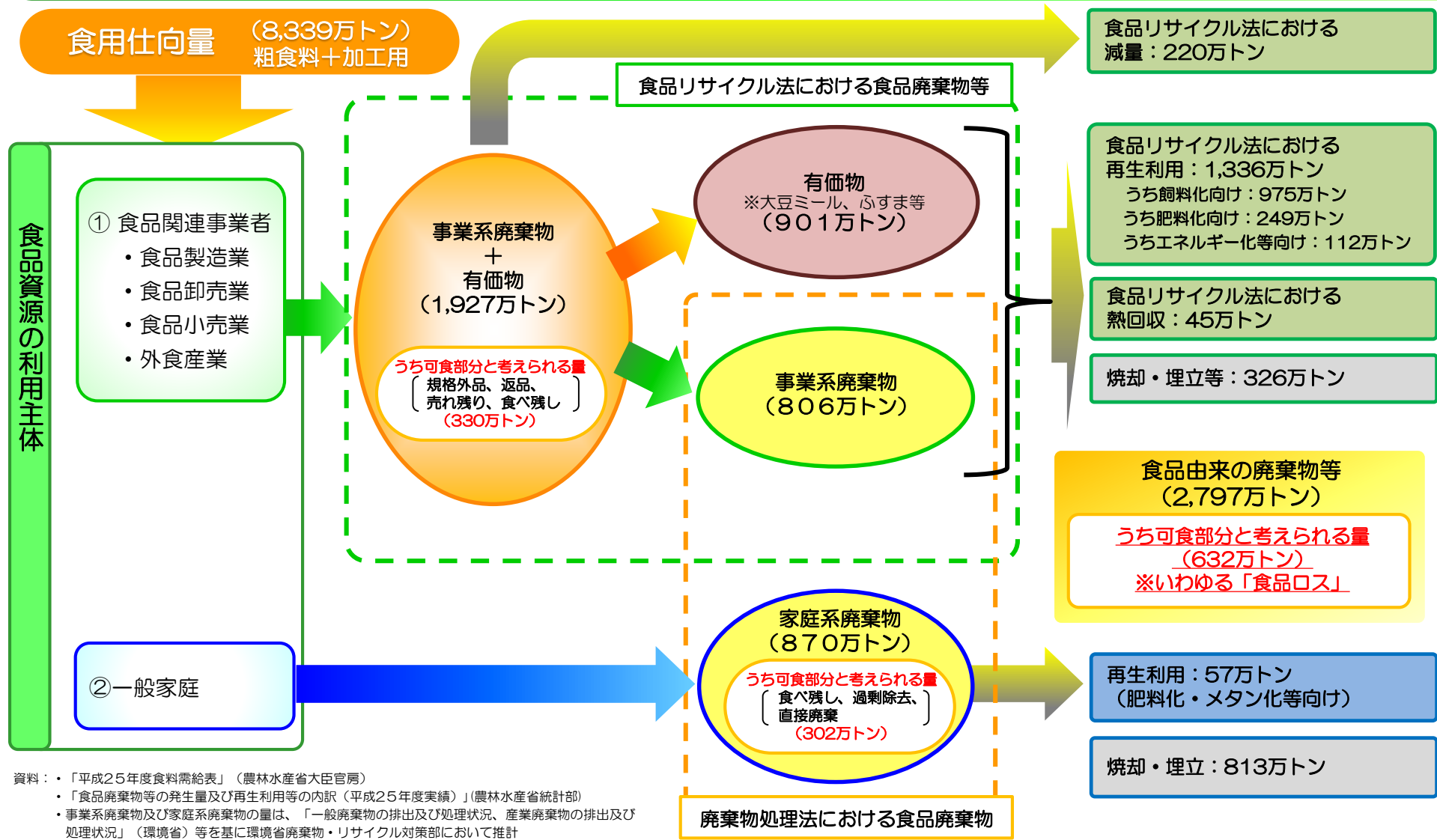
○「食品ロス」とは

- 「食品ロス」 = まだ食べられるのに捨てられる食品
- 食品廃棄物は年間2,797万トン、うち食品ロスは632万トン
 - ・ 日本の魚介類食用仕向量(約622万トン)とほぼ同量
 - ・ 世界全体の食糧援助量(約320万トン)の2倍
- 食品ロスの内訳は、
 - ◎事業系廃棄物由来：約330万トン
 - ◎家庭系廃棄物由来：約302万トン
- ・ 食品ロスの約半分は家庭から

もったいない！

食品ロスの削減には、事業者と消費者、双方の取組が必要。

● 食品廃棄物等の利用状況等（平成25年度推計）＜概念図＞



資料：・「平成25年度食料需給表」（農林水産省大臣官房）
・「食品廃棄物等の発生量及び再生利用等の内訳（平成25年度実績）」（農林水産省統計部）
・事業系廃棄物及び家庭系廃棄物の量は、「一般廃棄物の排出及び処理状況、産業廃棄物の排出及び処理状況」（環境省）等を基に環境省廃棄物・リサイクル対策部において推計
・「平成27年度食品循環資源の再生利用等に関する実施状況調査等業務報告書」（環境省請負調査）

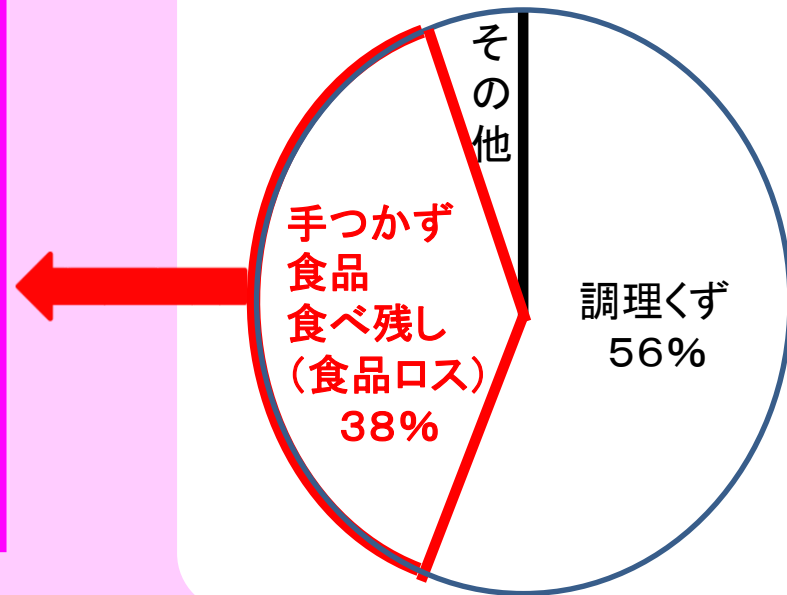
注：・事業系廃棄物の「食品リサイクル法における再生利用」のうち「エネルギー化等」とは、食品リサイクル法で定めるメタン、エタノール、炭化の過程を経て製造される燃料及び還元剤、油脂及び油脂製品の製造である。
・ラウンドの関係により合計と内訳の計が一致しないことがある。

● 「食品ロス」の発生要因

家庭

- 家庭から出る生ごみのうち
 - ・ 22.2%「手つかず食品」
 - ・ 15.7%「食べ残し」
- 捨てられる「手つかず食品」のうち約1/4が賞味期限前
(消費者の過度な鮮度や品質に対する意識が指摘されている。)

家庭から出される生ごみの内訳
(京都市 平成19年調査より)



食品事業者

事業者

- 製造・流通・調理の過程で発生する規格外品、返品、売れ残りなどが食品ロスに
(商慣習の影響が指摘されている。)

外食事業者

- 宴会・披露宴・宿泊施設で提供した食事のうち食べ残し量の割合10~15%
(農林水産省調査(平成21年度))
※食堂・レストランは約3%

消費者庁の取組

●消費者庁の取組

- 消費者への食品ロス問題の普及啓発のため、啓発用チラシを作成し、配布。
 - ・ 主な配布先：地方公共団体、消費者団体、事業者、高校・大学のほかイベント等で配布
 - ・ これまでの配布部数：約 8万6千部
- 地方公共団体や消費者団体では、普及啓発資料として活用されている。

あなたも一年で お茶碗164杯分の
食べものを無駄にしているかも?!

～食品ロス削減のために、できることから始めよう～

家庭の食事だけでも、一人当たりの食品ロスを試算すれば、一年間で24.6キログラムに及び、お茶碗164杯分※のごはんに相当します（※茶碗1杯分のごはんを150グラムと設定）
一人一人が「もったいない」を意識して、日頃の生活を元来することが重要です。

大切なのは、一人一人が「もったいない」を意識して行動すること

「賞味期限」を正しく理解する

食品の期限表示は、「賞味期限」と「消費期限」の2種類があります。「賞味期限」は、「おいしく食べることのできる期間」です。賞味期限を過ぎてもすぐに廃棄せず、自分で食べられるかどうかを判断することも大切です。



買い物は必要に応じて

必要な食品を、必要な時に、必要な量だけ購入しましょう。例えば、買い物に出掛ける前には、冷蔵庫の中をチェックしてみましょう!



調理で作り過ぎない! 余ったら作り替える

もし、食べ切れなかった場合は、他の料理に作り替えるなど、献立や調理方法を工夫しましょう。詳しくは下記URLへ「検索」をクリックし、「検索結果」の「調理」をクリックしてください。
<http://cookpad.com/kitchen/10421939>



食品関連事業者も、過剰在庫や返品等によって発生する食品ロスの削減に向けて動き出しています。消費者の皆様も、食品ロスの削減に向けてご協力をお願いします。



食品ロスの現状

● 食品ロスとは?

日本では、年間2,801万トン※の食品廃棄物等が出されています。このうち、食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は、642万トン※と試算され、我が国の食用の魚介類の量（年間622万トン）にほぼ匹敵します。



● 食品ロスの約半分は一般家庭から

642万トンの食品ロスのうち、312万トンは、一般家庭からのものです。家庭での一人当たりの食品ロス量を試算すれば、一年間で24.6キログラムに及び、茶碗164杯分※のごはんに相当します。



消費者庁では、食品ロスの削減に向けた情報発信を強化するため、「食べもののムダをなくそうプロジェクト」ページを開設しています。

食品ロス削減に取り組みたい地方公共団体や民間団体などにも紹介しています。
http://www.caa.go.jp/adjustments/index_9.html

今日から実践! 食品ロス削減 家庭編

「食べ残し 皮のむき過ぎ 鮮度落ち」～食品ロスの原因～
「必要な量だけ購入して」「食べ切る」ことが削減のポイントです。

買い物

事前に冷蔵庫内などをチェック
必要量を計算して購入する
必要な食材をまとめてゲット
食品ロスが多いのは野菜などの生鮮食品
必要以上に買った場合は、冷凍保存も活用する
事前に確認されている食品をチョイス
家庭での利用予定に照らして消費期限を確認しましょう。



調理

残っている食材から使う
野菜や果物の皮は厚みきしない
食材を上手に食べ切る
定期的に冷凍庫や冷凍庫を整理する日を決める



もし、食べ切れなかった場合は、他の料理に作り替えるなど、献立や調理方法を工夫しましょう。詳しくは下記URLへ

URL: <http://cookpad.com/kitchen/10421939>

事業者（製造、卸、小売）や地方公共団体も食品ロス削減に動き始めています。
地方公共団体 ▶ http://www.caa.go.jp/adjustments/index_11.html (検索ワード: 事業者)
事業者 ▶ http://www.maf.go.jp/shokunin/kyokai/kyokai_index.html (検索ワード: 事業者)

これらのアイデアを参考に、皆さんも自分のできるところを、下の欄に書いてみましょう。



今日から実践! 食品ロス削減 宴会編

宴会の食べ残し量は、ランチ・定食の5倍!
食べ残しを減らすため、「食べ切りミッション」始めよう。

ミッション1 宴会前

参加者の好みや食べ切る量をチェック
宴会メニュー選びに活用する
食べ切る量のメニューをチョイス
ハーフサイズ、少量コースなど、料理の量を減らす



ミッション2 宴会中

コース料理提供時の例：キーワードは「30・10」

強いタイム
お料理 30分以内は残量を減らす
お料理はできるだけ食べ切る

減しタイム
全皿で残量を見定める
料理のとりきれない

食べ切りタイム
お料理の10分以内はもう一度料理を減らす
お料理は「食べ切り」を呼び掛ける
お料理の残りはお皿に半分にして食べやすくする



ミッション3 お聞き時

おいしい料理とお店に感謝した後、食べ切った仲間とハイタッチ



地球にもやさしい「食べ切りミッション」の実践をお願いします。

世界では、約9人に1人が栄養不足です。14億2千万人の命を脅かす食糧不足を減らすため、国内の食品ロスの年間発生量（約222万トン）は、食料の食料の量（約222万トン）にほぼ匹敵します。



●消費者庁の取組

- 消費者庁のホームページにおける情報提供
(関係機関の取組紹介、啓発用パンフレット・イベント情報等を掲載)
- クックパッド(レシピサイト)に「消費者庁のキッチン」を設け、リメイクレシピや使い切りレシピなどを紹介

ホーム > 消費者政策課 > 食べもののムダをなくそうプロジェクト(食品ロス削減に向けた取組)

↑ 消費者政策

関係省庁等による消費者政策への取組みを促進します。

食べもののムダをなくそうプロジェクト
～食品ロス削減のため、できることから始めよう～

- 消費者庁は関係6府省庁が連携して事業者と家庭、双方における食品ロスの削減を目指し、国民運動「NO-FOODLOSSプロジェクト」を展開しています。



愛称:「ろすのん」

- 料理レシピサイト「クックパッド」に「消費者庁のキッチン」(公式ページ)を作りました♪



詳しくはこちらをクリック♪

- 『食品ロス削減の啓発ソング』を作成しました!!
消費者庁の食品ロス担当者が、食品ロス削減のオリジナル啓発ソングを作成しました。

詳しくは「食べもののムダをなくそう」をクリック!

↑消費者庁ホームページ

http://www.caa.go.jp/adjustments/index_9.html

○ おすすめコンテンツ

商品などの
先物取引を勧誘されたら

危ない!
クリック前に チェック!
インターネット消費者トラブルに注意

インターネット
消費者トラブル

↓ クックパッド「消費者庁のキッチン」
<http://cookpad.com/kitchen/10421939>

クックパッド | サービス一覧 | クックパッドマガジン最新号発売

プレミアムサービス ユーザー登録(無料) ログイン

毎日の料理を楽しみに **cookpad** 242万レシピ

料理名・食材名 × 目的・用途 レシピ検索

セタ セタゼリー きゅうりのキューちゃん ヨーグルト パナナ

MYフォルダ MYニュース レシピを書く

消費者庁 のキッチン 公式

フォローする 443人

消費者庁は、消費者の皆様へ安全・安心を確保するため、様々な取組を行っています。食...

最近の投稿 レシピ 215 つくれぽ 献立 ごはん日記

16/06/30 レシピを公開

16/06/28 レシピを公開

16/06/21 レシピを公開

毎週更新! おすすめ特集 広告 一覧はこちら

- アレンジ夏麺! レシピ大集合
- 食欲そそのま夏野菜カレー
- もやして簡単おつまみ♪
- 夏に活躍! 簡単梅干しレシピ
- 夏にぴったりチキンレシピ

●消費者庁の取組

- 農林水産省、環境省とともに、食品ロス削減に係る関係者に対し**先進的な取り組み等の情報提供を行い、普及啓発を図る**目的でシンポジウムを開催。

もったいないを見直そう～食品ロス削減シンポジウム～

- ・日時:平成28年10月28日(金)13:30～16:00
- ・場所:イノホール&カンファレンスセンター Room A
(東京都千代田区内幸町2-1-1)
- ・プログラム:

○事例発表

福井県 安全環境部循環社会推進課 主任 大石光紀氏
長野県松本市 環境部環境部長 土屋雄一氏
サレストランシステムズ株式会社 経営企画部部長 夏井克典氏
株式会社トーヨーカ堂 加工食品部 シニアマーチャンダイザー 荻原素宏氏
一般財団法人日本気象協会 防災ソリューション事業部 専任主任技師 本間基寛氏

○パネルディスカッション「地域で見直す“もったいない”」

コーディネータ 崎田 裕子氏


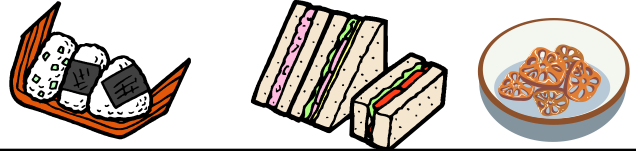
(NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長)

パネリスト 事例発表の皆様



●消費者庁の取組

○食品ロスの削減には、賞味期限・消費期限の正しい理解も重要
(パンフレット等により普及啓発)

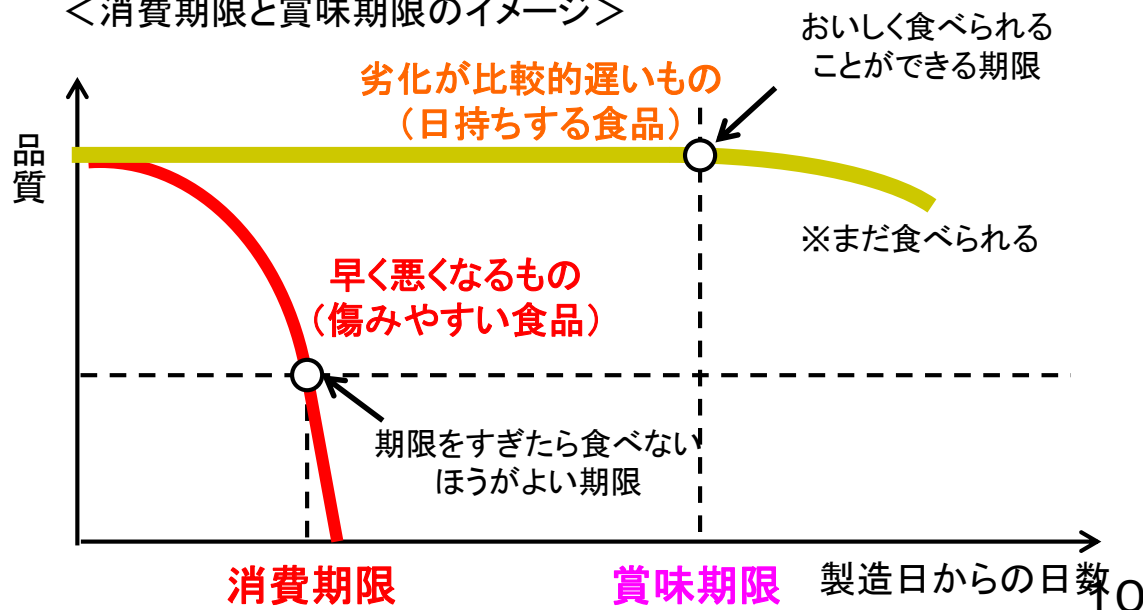
	意味	表示がされている食品の例
賞味期限	おいしく食べることができる期限(best-before) 定められた方法により保存した場合に、期待される全ての品質の保持が十分に可能であると認められる期限。 ただし、当該期限を超えた場合でも、これらの品質が保持されていることがある。	菓子、カップめん、缶詰 
消費期限	期限を過ぎたら食べない方がよい期限(use-by date) 定められた方法により保存した場合、腐敗、変敗その他の品質(状態)の劣化に伴い安全性を欠くこととなるおそれがないと認められる期限。	弁当、サンドイッチ、惣菜 

<表示例>

名 称 いちごジャム
 原材料名 いちご、砂糖、…
 添加物 増粘多糖類、…
 内容量 400g
 賞味期限 枠外下部に記載
 保存方法 直射日光を避け、常温で保存
 製造者 ○○株式会社
 東京都千代田区△△

賞味期限 28.12.31

<消費期限と賞味期限のイメージ>



食品ロスに関する消費者教育

消費者教育の推進に関する基本的な方針(平成25年6月28日閣議決定)

Ⅱ 消費者教育の推進の基本的な方向

3 他の消費生活に関連する教育と消費者教育との連携推進

(食育)

食育は、食育基本法(平成17年法律第63号)に基づいて、推進されている。食育を、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められている。食育の取組の中で、マナーの習得、「もったいない」という意識のかん養、食品ロスの削減や地産地消の推進といった取組は、持続可能な社会の形成を目指す消費者教育の課題でもある。また、栄養バランス等の観点から適切な食生活を選択すること、食品の安全性に関する知識と理解を深めること等は、栄養表示を含めた食品表示の適切な理解を始め、食における危険を回避する能力を育む消費者教育と密接な関係がある。このように食育の内容は、消費者教育の重要な要素であり、積極的な推進に努める。

○消費者庁の取組

○消費者教育ポータルサイト

・消費者庁、関係府省、関係機関及び地方公共団体が作成した教材等を消費者教育ポータルサイトに掲載

・「食品ロス」関係の教材の登録件数:3件

((公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、山梨県、東京都消費生活総合センター)



消費者教育ポータルサイトとは

「消費者教育ポータルサイト」は、消費者教育に関する様々な情報を提供するサイトです。

学校や社会の様々な場面で消費者教育を実施したいと考えている方や自学されている方が、教材、講座、取組の情報を検索したり、掲載したりすることができます。

検索

消費者教育に関する教材、講座、取組を検索したい方はこちらから

↓ 消費者教育の体系イメージマップ検索

ライフステージ（幼児期～高齢者）とジャンル（重点領域）の組み合わせから、相応しい教材、講座、取組を検索します

↓ フリーワード検索

↓ 条件絞り込みで探す

↓ 「消費者教育の担い手向けナビゲーション」からの情報検索

自分の立場（あなたは？）、相手の立場（誰に？）、使う場所（どこで？）といった質問に答えていくことで、教材、講座、取組を検索します



掲載

消費者教育に関する教材、講座、取組を掲載したい方はこちらから

→ 「教材」の登録フォーム

「教材情報の入力にあたってのご注意」「記入の手引き」を御確認の上、登録を行ってください

→ 「講座」の登録フォーム

「講座情報の入力にあたってのご注意」を御確認の上、登録を行ってください

→ 「取組」の登録フォーム

「取組情報の入力にあたってのご注意」を御確認の上、登録を行ってください



消費者教育ポータルサイトとは

消費者教育を担う講師、学校の教職員、専門家、地域住民と関わりのある者を主な利用者として置かれた消費者教育の教材・サービス等の情報検索サイト。国や地方公共団体、消費者団体、事業者団体等から情報等が提供され、消費者教育の教材が約795件、取組が約300件、講座が約603件登録されている(2016年3月末時点)。

●消費者庁の取組

○ 地方消費者行政推進交付金 平成28年度(当初):30億円

消費者行政推進のために必要な経費を交付し、消費生活相談体制の維持・充実や、消費者問題解決力の高い地域社会作り等の地方公共団体の取組を支援。

○国と地方のコラボレーションによる先駆的プログラム

消費者の安全・安心の確保に向け、消費者問題に関する先駆的なテーマを国から提案、問題意識を共有した上で、地方公共団体の自主性・独自性を確保しつつ、地方の現場での実証実験等を実施。
全国的な波及・展開を目指す。

平成28年度消費者教育関連テーマ

Ⅱ. 消費者教育の推進(地域における多様な担い手の連携・協働、風評被害の防止等)

○多様な主体間の連携・協働や体系立った消費者教育の展開等を促進し、地方の消費者教育を推進

平成28年度(28事業)(平成28年7月15日現在)

北海道	札幌市	消費者教育情報システム構築事業
山形県	山形県	地元の大学と消費者団体との連携による消費者教育の充実を図る「消費者啓発“塾”」 ～“もの言う消費者”という意識を持って行動するために～
山形県	山形県	「学校における消費者教育の推進 ～シニアの知恵と若者のパワーを活かす～」
千葉県	千葉県	消費者教育コーディネーター育成試行事業
富山県	富山県	多様な主体による連携強化・発展型の消費者教育強化事業
福井県	福井県	事業者と生産者をつなぐ交流事業
岐阜県	岐阜県	情報モラル教材制作委託事業
岐阜県	岐阜県	幼児向け消費者教育実践事業
静岡県	静岡県	ふじのくに職域における消費者教育推進事業
静岡県	浜松市	倫理的消費啓発事業
静岡県	浜松市	「消費者市民社会」実現のための小学校家庭科教材開発
静岡県	伊東市	地域の事業者と連帯した食品ロスの削減等に関する消費者教育推進事業

愛知県	名古屋市	消費者市民教育推進事業
愛知県	一宮市	高校における消費者教育モデル事業
三重県	名張市	食育・地産地消に関する消費者教育推進事業
滋賀県	滋賀県	～子どもだって消費者！～子どもたちへの消費者教育推進事業
大阪府	大阪府	高校生期における消費者教育 消費者教育教材の作成
大阪府	大阪府	大学生期における消費者教育
兵庫県	神戸市	「神戸消費者力研究機関」の設立(平成28年度) (愛称:神戸コインズ:“KOBÉ COConsumers’ power INStitute”)
兵庫県	西宮市	西宮市立図書館における消費者教育
鳥取県	鳥取県	子ども等への倫理的消費(エシカル消費)の普及啓発
鳥取県	鳥取県	将来の賢い消費者育成のためのネットワークづくり
岡山県	岡山県	幼小中高生向け消費者教育プログラム開発事業
山口県	山口県	学校における消費者教育授業の推進
徳島県	徳島県	「エシカル消費」推進プロジェクト(シンポジウム)
徳島県	徳島県	「エシカル消費」推進プロジェクト(研究校)
徳島県	徳島県	“消費生活クロスロード”を活用した消費者力地域波及プロジェクト
大分県	大分県	非常事態での風評被害に惑わされないためのコミュニケーション事業

●食品ロス削減関係省庁等連絡会議

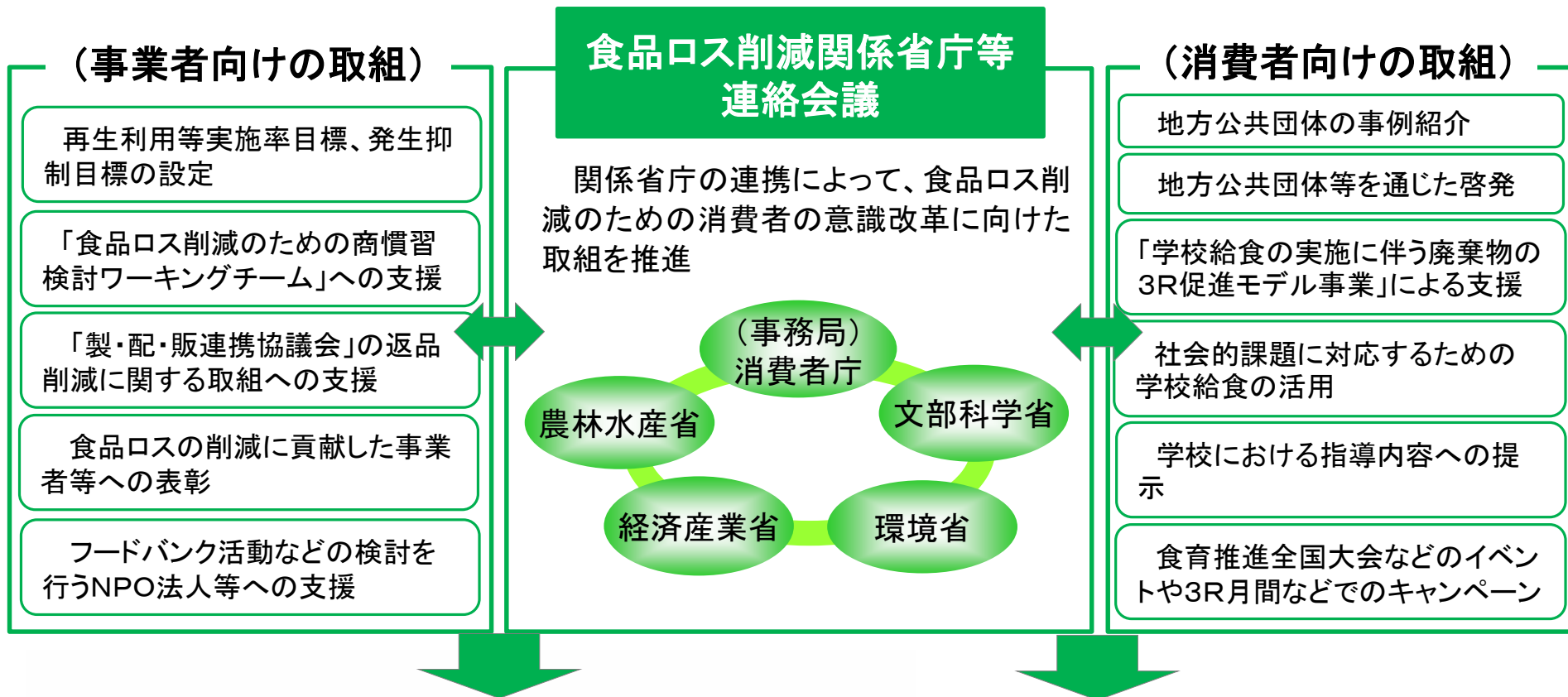
役割

食品ロスの削減に関連する関係省庁等の連携を図り、食品ロスの実態及び関係省庁等における取組み等を情報交換するとともに、消費者自らが食品ロスの削減を意識した消費行動等を実践する自覚(例:賞味期限等の食品表示の正しい理解、冷蔵庫の在庫管理、食品ロスに対する意識改革)を形成するため普及啓発方策について、検討・協議する。

構成員(平成28年4月現在)

- 文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課 企画官
 - 農林水産省大臣官房参事官
 - 農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室長
 - 経済産業省 商務情報政策局 商務流通保安グループ流通政策課長
 - 環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 企画課 リサイクル推進室長
 - 消費者庁 消費者政策課長
 - 消費者庁 消費者教育・地方協力課長
 - 消費者庁 食品表示企画課長
- ＜事務局： 消費者庁＞

食品ロス削減関係省庁等連絡会議



食品ロス削減に向けた国民運動の展開

～NO-FOODLOSS プロジェクト～

平成25年12月、ロゴマーク(ろすのん)を決定。



食べものに、
もったいないを、
もういちど。

NO-FOODLOSS PROJECT

《ご紹介》

名前:ろすのん
(食品ロスをなくす(non)という意味)

外見:真ん中の赤丸は「お皿」をイメージ
下の二本線は「お箸」をイメージ
右目の涙は「もったいない」感情を表現

ロゴセ:語尾に「のん」が付く

食品ロス削減関係省庁等連絡会議

—関係府省庁が連携して食品ロスの削減に取り組みます—

事業者向け



消費者向け

平成28年4月

【平成28年度の主な取組】

- 再生利用等実施率目標、発生抑制目標の設定
(農林水産省、環境省ほか関係省庁)
- 食品ロス削減に向けた食品関連事業者の実践的なモデルの普及やフードバンク活動などの検討等を行うNPO法人等への支援
(農林水産省/予算額:24百万円)
- 「製・配・販連携協議会」の返品削減に関する取組への支援
(経済産業省)
- 食品流通の川下における食品廃棄物の再生利用等の促進
(農林水産省/予算額25百万円の一部)
- 食品ロス削減に貢献した事業者等への表彰
(農林水産省/ 予算額:12百万円)

【平成28年度の主な取組】

- ホームページにおける啓発
(各省庁)
- 「循環型社会形成推進基本計画」への盛り込み
(環境省)
- 「循環型社会形成推進基本計画」のフォローアップと普及啓発
(環境省/予算額:88百万円の一部)
- 食品リサイクル法に基づく基本方針の策定
(農林水産省、環境省ほか関係省庁)
- 「3R行動見える化ツール」、3R推進月間(10月)等による普及啓発
(環境省)
- 「学校給食の実施に伴う廃棄物の3R促進モデル事業」による支援
(環境省/予算額:23百万円の一部)



- 「消費者基本計画及び同工程表」(平成27年3月24日決定)においても明記(消費者庁)
- 「消費者教育の推進に関する基本的な方針」(平成25年6月28日閣議決定)においても明記(消費者庁、文部科学省)
- 学校における指導内容に「食べものを大事にし、生産者等へ感謝する心をもつ」旨を提示(文部科学省)
- 食品ロスの削減等の社会的諸課題に対応する学校給食のモデル事業の実施
(文部科学省/予算額:150百万円の一部)
- 消費者向けのパンフレットやイベント開催等による啓発
(消費者庁/ 予算額:3百万円)
- 食育白書や、食育月間実施要綱、食育推進全国大会における出展団体による食品ロス削減の取組の紹介・展示を通じた普及啓発
(農林水産省)
- 地方自治体を通じた普及啓発
(各省庁)